

■服部良一 作曲家、編曲家。ジャズで音楽感性を磨き、「青い山脈」はじめ、時代を象徴する国民的ヒット曲を出した。

はっとりりょういち

韓国反日暴動1907=

大阪府大阪市東成区で、土人形師の父久吉と母スエの間に生まれ、

芸事好きの家族の影響で、郷土の民謡である「江洲音頭」や「河内音頭」を子守唄代わりに育ち、

明治天皇没・1912= 5歳：

大正政変・1913= 6歳：大阪市立生魂小学校に通いはじめると、音楽の才能を発揮、

民本主義・1916= 9歳：

ベルリン条約・1919=12歳：

卒業後は、商人になるため、昼は働き夜は大阪市立実践商業学校に通うなか、姉の勧めで、饅料理店の宣伝のための「出雲屋少年音楽隊」に一番の成績で入隊。オーボエ、サクソ、フルート奏者になるが、

原敬首相暗殺1921=14歳：第一次大戦後の不景気もあって、解散になってしまう。

治安維持法・1925=18歳：

門本時代始・1926=19歳：ラジオ放送用に結成された「大阪フィルハーモニック・オーケストラ」に入団し、指揮者を務めていた亡命ウクライナ人の音楽家エマヌエル・メッテルから、4年にわたって音楽理論・作曲・指揮の指導を受ける一方、生活のため、オーケストラの傍ら、ジャズ喫茶でピアノを弾いたりし、

世界恐慌・1929=22歳：この頃、弱小レコード会社「タイヘイ」の専属になるも、

満州事変・1931=24歳：この頃には大阪コロムビアで街頭演歌歌手出身の作曲家鳥取春陽のジャズ演歌の編曲の仕事などしている。

五一五事件・1932=25歳：タイヘイの指示で、当時のヒット曲「酒は涙か溜息か」を剽窃した曲を書かされるたことに嫌気がさし、

国際連盟脱退1933=26歳：ディック・ミネの助言で上京。ダンスホール「ユニオン」のバンドリーダー、サクソフォン奏者から、

帝人疑獄事件1934=27歳：東京進出をはかった「ニッポレコード」の音楽監督を経て、

二二六事件・1936=29歳：長男克久が誕生。*大手レコード会社コロムビアの専属作曲家に迎えられ、最初の作品、淡谷のり子が歌う「

おしゃれ娘」の作曲が、スウィングジャズの調子をふんだんに取り込んだ斬新な作品で、一躍注目を浴び、

日中戦争始・1937=30歳：淡谷のり子歌う「別れのブルース」は、黒人ブルースをベースにした本格的な作品で、まだ無名の藤浦洗に頼んで作詞してもらい、満州大連のダンスホールで活躍していたトランペッター南里文雄が認め、国内より先に流行し始め、作詞・作曲・歌手を一挙に世に出すことになって、以後のブルース歌謡の流行とともに、一流の作曲家の仲間入りを果たす。その後ジャズのフィーリングをいかした和製ブルース、タンゴなど一連の和製ポピュラー物を提供。機知にとんだコロムビア・ナカノ・リズムボーイズの「山寺の和尚さん」、

健保+総動員 1938=31歳：淡谷のり子「雨のブルース」、

第二次大戦始1939=32歳：淡谷の「夜のプラットホーム」は「出征兵士の士気を殺ぐ」という理由で発禁処分。「中野忠晴の「チャイナ・タンゴ」、霧島昇の「一杯のコーヒーから」、渡辺はま子の「いとしいの星」、藤山一郎の「懐かしのボレロ」、

大政翼賛会・1940=33歳：皇軍慰問団に参加して中国各地を廻った際、その風景とチャイナ・メロディに触発されて、李香蘭主演映画「支那の夜」の主題歌として作曲し、一番印象深いと自認した霧島昇・渡辺はま子の「蘇州夜曲」、高峰三枝子が歌った感傷的なブルース調の「湖畔の宿」、など、いずれも大ヒットし、黄金時代を迎えるが、

日米開戦・1941=34歳：太平洋戦争が始まると、ジャズ音楽は敵性音楽として排除された。そのような中、

創価学会検挙1943=36歳：映画「音楽大進軍」で、「荒城の月」で「ブギ」のリズムを表現、

年金+総武装 1944=37歳：ジャズの活動の場を求めて上海に渡り、「夜来香」をシンフォニック・ジャズにした「夜来香幻想曲」を発表。上海交響楽団ではクラシックの指揮も行っている。

敗戦・1945=38歳：次男良次が誕生。敗戦後は、コロムビアを中心に旺盛な作曲活動、戦前の「荒城の月」を編曲、

新憲法公布・1946=39歳：早くも、「自ら村雨まさを名で作詞し、藤山一郎が歌う「銀座セレナーデ」、二葉あき子、近江俊郎歌う「黒いパイプ」を発表、タンゴのスタイルの曲としては2大傑作になる。

新憲法施行・1947=40歳：戦前発禁になったものを二葉あき子が歌う「夜のプラットホーム」。鈴木大拙とアメリカ女性の子鈴木勝の作詞で、「笠置シズ子」が歌う「東京ブギウギ」が大ヒット、たちまち、「ブギの女王」になり、東大総長南原繁が後援会長を買って出たほどであった。

極東裁判決・1948=41歳：灰田勝彦歌う「東京の屋根の下」。「へいへいブギ」、

三大事件・1949=42歳：高峰秀子主演映画の主題歌「銀座カンカン娘」。石坂洋次郎原作映画の主題歌、藤山一郎、奈良光枝による「青い山脈」。プロ野球ブームを歌った「ホームラン・ブギ」、

朝鮮戦争始・1950=43歳：西城八十作詞「山のかなたに」。大阪弁をモチーフに作詞家村雨まさをとしての才能も発揮した「買物ブギ」最後に、笠置によるブギブームは終わる。

独立回復・1951=44歳：

マーチン事件・1952=45歳：

1950年代には、古川ロッパ、榎本健一、トニー谷らが来宅し、絵画好きの共通点から、猪熊弦一郎、月光荘

面材店創業者橋本兵蔵、建築家の谷口吉郎などと家族ぐるみの付き合い、

彼らとともに、谷口の設計で、長野県軽井沢町に長屋形式の別荘「画架の森」を建てている。

古賀政男を会長に、「日本作曲家協会」を発足させ、

「日本レコード大賞」を創設するなど、

安保闘争・1960=53歳：

タイタイ病始・1961=54歳：

日本のミュージックシーンの発展に尽くし、

紫綬褒章。

全共闘ビョウ・1969=62歳：

大阪万博・1970=63歳：

石油ショック1973=66歳：

JALハイジャック・1977=70歳：もともと軽井沢に別荘のあったオノ・ヨーコの関係で、以後3年、毎シーズン軽井沢を訪れたジョン・レノン夫妻も「画架の森」を来訪。

成田衝突・1978=71歳：勲三等瑞宝章。

革新大敗北・1979=72歳：

中曽根内閣・1982=75歳：

竹下内閣・1987=80歳：品川区名誉区民に選出され、

リクルート事件・1988=81歳：

55年体制終・1993=86歳：東京都品川区の昭和大学病院で呼吸不全のため没した。約1か月後、作曲家としては古賀政男に次いで史上2人目となる国民栄誉賞が授与された。

長男克久は作曲家、その息子隆之も作曲家、娘は音楽畑出版代表取締役の奈緒。次男吉次は(劇団黒テント)

創設メンバー舞台俳優であるが、最近になって、父が親交していたジャニー喜多川から性被害を受けていた

ことが明らかになった。吉次の子有吉がバレエダンサー・振付師であるなど、音楽家一家になっている。

Wikipedia「服部良一」、塩澤実信「歌謡曲が輝いていた時 昭和の作曲家20人100曲」、